

「鉄道特性活性化PT」始動！

将来の鉄道のあり方、展望について活発な意見交換を展開

JR連合は、1月30日、議員会館で鉄道特性活性化プロジェクト（以下PT）第1回会合を開催した。本PTは、鉄道が取り巻く現下の状況ならびに将来像を踏まえ、鉄道特性をより一層発揮でき、将来に亘る希望の持てる鉄道のあり方、方策について検討を行うことを目的に設置されたものである。

座長の三日月大造衆議院議員（滋賀3区）、アドバイザーの専修大学太田和博教授、単組の代表者、JR連合役員ら16人が出席し、活発な意見交換を行った。

冒頭、主催者を代表し、JR連合坪井会長は「幅広い視点に立って中長期的な鉄道の発展に寄与する政策立案を行っていききたい。単組と一体となった取り組みに期待する」と決意を述べた。

続いて、JR連合事務局から、①PTの役割と目的②JRをはじめとした鉄道を取り巻く情勢と将来見通し③提言の基本フレーム等について提起を行い、議論を展開した。

参加委員からは、過疎化や高齢化に対応した観点からの議論要望や他交通モードとの連携の必要性などに関する意見が出された。

また、人口動向など今後大きな変化が想定される日本社会においても、鉄道は引き続き社会インフラとして必要不可欠な存在となり、鉄道特性の更なる発揮により、地域の発展、更には日本経済の成長につながる「好循環」を創り出すことは可能との論点に立ち、①地域特性の発揮②高速特性の発揮③輸送特性の発揮などを柱とする基本戦略に基づき、今後議論を行っていくことを確認した。

